



ご挨拶

同志社校友会群馬県支部の皆様、今年もお世話になりました。全国の支部運営も同様で会員減少・若手会員不足・予算不足と会の活性化対応で悩んでおり、当支部では分科会会則も起案し、多くの皆様に参加して頂ける状態にあります。

一方、世界では戦争継続やトランプ次期大統領に加えて、韓国の尹大統領の戒厳令といった衝撃ニュースもありますが、明るいニュースと言えばやはり今年も大谷選手になるでしょうか。結婚発表に続き50-50の偉業達成で昨年に続いて大活躍でした。また、日本の探査機が月に初着陸した際に、同志社大学の渡辺教授が開発した「SORA-Q」が活躍して驚きましたが、横浜フェアで本物に触って本当に「小さな巨人」に感激しました。更に、石破茂首相が熊本バンドのメンバーだった金森通倫の曾孫である事も、皆さんと共有しておきたい事実です。

さて、2025年は同志社大学創立150周年で各種イベントが予定されます。ぜひ皆さんと一緒に参加してお祝いしたいです。我々の群馬県支部を一緒に盛り上げていきましょう。

支部長 内田 隆雄

春の集い

3月2日(土)に「春の集い」として「クラリネット奏者の高橋貞春氏とピアノ奏者の糸賀のぶ子氏による演奏会」と「懇親会」をマリエール高崎で開催しました。校友会・同窓会会員34名が出席、来賓に新島学園短期大学の岩田学長をお迎えしました。

演奏会は、重厚感のある低音から透き通るような高音域までのクラリネットとピアノの音色が会場に響き渡る、正に早春に相応しい演奏会でした。

懇親会は、内田・豊泉両支部長の挨拶に続き、新島学園短期大学の岩田学長にご挨拶を頂き、当会会員の原牧師の祈祷、飯降副支部長による乾杯の音頭で和やかに始まりました。中盤に同志社スポーツ年鑑から、強かりし時代のラグビーの試合映像を鑑賞しました。今や過去の栄光となってしまった同志社ラグビーの映像に皆が胸を熱くし、「ラグビーの同志社よ、もう一度」との声が上がりました。最後は、同志社カレッジソングを皆で肩を組み声高らかに歌って、お開きとなりました。



令和5年度支部総会

9月29日(日)にマリエールウィル高崎にて支部総会が開催されました。来賓として同志社大学廣安副学長・校友会伊藤副会長・新島学園湯浅理事長・新島学園短期大学岩田学長及び近隣支部より役員8名をお迎えし、校友参加者33名での総会でした。内田支部長の挨拶に続き同志社大学廣安副学長にご挨拶を頂きました。総会議案は、従来の議案に加え、今回初めて次年度計画について内田支部長が説明しました。更に、今年元旦に大地震に襲われた能登地方が9月月には豪雨災害を被っていることから、この総会での同志社募金を能登地方への災害見舞金として寄付をしたい旨内田支部長が緊急提案し、全員の賛同が得られ、参加者皆さんから55,600円の寄付が寄せられました。

講演会は、同志社大学名誉教授の原誠様に「群馬と同志社をつなぐものーキリスト教」と題してご講演を頂きました。新島襄の日本で最初の説教が安中であつたこと、安中教会と同志社の関係が極めて深いこと、群馬においてキリスト教が広まる素地があつたこと等、丁寧にお話しく下さいました。新島襄の教育とキリスト教への強い思いを痛感した講演会でした。

同窓会と合同での集合写真撮影後、懇親会では内田・豊泉両支部長のご挨拶、来賓紹介、来賓代表として校友会・同窓会の伊藤・志垣両副会長にご挨拶を頂き、小栗幹事による祈祷、新島学園湯浅理事長による乾杯で懇親会が始まりました。懇親会をご来賓の方や新会員・初参加者のスピーチで盛り上がり、景品抽選会では会場がざわつく程盛況でした。最後は三輪会計幹事のリードでカレッジソングを声高らかに歌い上げお開きとなりました。



All Doshisha募金

2024年11月30日現在の群馬県の募金状況は、個人で79名19,339千円、団体で2団体500千円、法人で3企業300千円、合計20,139千円となっております。会員の皆様方にご協力をいただきましたこと、改めて感謝申し上げます。

なお、全体の募金状況は、個人1,235,057千円、団体57,755千円、法人679,504千円、合計1,972,315千円で、目標の50億円に対する達成率は39.45%となっております。

募金期間も残すところ1年余りとなりましたが、今後とも折に触れ募金のお声掛けをさせていただきますので更なるご協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。





新島研究会

(1) 総括

本年度は、月間の会員の研究発表の他に6月は小平市の津田塾大学を見学、9月には同志社大学元教授水井先生の「群馬から同志社へ」の講演会を新島学園短期大学で開催しました。また10月は東京新島研究会の支倉氏をお招きして「海老名弾正と吉野作造」の講演会を実施し、11月には九州熊本旅行に行きました。

(2) 「津田塾大学」訪問(6月14日)

同志社の恩人である津田仙は津田梅子の父親であり、また新島襄はアメリカで津田梅子と数回会っており、同志社と津田塾は縁が深いので訪問することになりました。今回も東京新島研究会の津田道夫氏に案内して頂き、普段見られない史料館等を見学させて頂きました。驚いたことに、学校の境内には津田梅子のお墓があり、皆でお参りしました。校内はとても静かで女子校とは思えない雰囲気が漂っていました。

(3) 九州・熊本旅行(11月5日~7日)

同志社の基礎を創った「熊本バンド」の誕生の地である熊本に、同窓会を含め総勢13人で2泊3日の研修旅行に行きました。

初日は高崎を午前7時に出発し、羽田空港から熊本空港に降り、貸切のマイクロバスで阿蘇周辺をドライブ観光、夜はライトアップしている熊本城が見えるレストランで熊本郷土料理を堪能しました。

二日目の午前中は花岡山・徳富記念園を見学した後草葉町教会で昼食し、その後ジェーンズ邸に行きました。熊本城ではボランティアの方の細かい説明に皆感心し、夜は熊本校友会の方々と楽しい懇親会を開催しました。

最終日は横井小楠記念館に行き、通潤酒造で昼食した後通潤橋を見学し、豪華な放水の瞬間を見届けました。最後は四賢婦人記念館で四賢婦人の末裔の方のお話を伺い熊本空港を後にしました。



平成卒交流会

今年も3回の平成卒交流会を開催し参加者が和気あいあいと懇親を深める事が出来ました。定期的で開催致しますので、ご興味のある方や皆様方の中で平成卒で推薦したい方等いらっしゃいましたら、是非幹事三輪まで連絡をお願いします。

第14回 2月4日(日)「スノーシュー体験&万座温泉日帰りツアー」

2008年政策卒の植原さんの企画で、卒業後の仕事や生活を広く知ってもらう機会を作り、卒業生の繋がりをより強固にしていきたいのが趣旨です。今回の試みを通じて、今後の新しい企画の参考になればと期待しています。

当日はJR万座鹿沢駅に集合し、車で目的地へ向かいスノーシューを楽しんだ後に、昼食と万座プリンスの温泉を堪能しました。

第15回 8月17日(土) 19:00~

高崎市鞆町の炭火焼 烏兔にて男性6名で、「焼鳥と鮮魚のコース」の「おすすめコース」をオーダーし名物の比内地鶏を堪能しました。

大変美味しかったですのですが、量が少なくて・・・

第16回 11月15日(金) 18:30~

にんにく家 前橋店にて男性4名、女性1名と、立命館OB男性4名、女性1名で、2回目のコラボ企画として忘年会兼懇親会を開催しました。1回目は2019年11月15日でなんと偶然にも5年前の同月同日でした。同じ京都ということで、引き続き交流を持っていきたいと思ひます。



2025年計画案(来年の主な校友会行事です。奮ってご参加下さい。)

1. 春の集い：3月8日(土)の予定で準備中、詳細は別途案内を参照ください。
2. 総会・懇親会：10月18日(土)を予定表に記入しておいてください。
3. その他：会員の方々に何か新企画を希望の方は、ぜひご連絡ください。

(ご意見・ご要望につきましては、直接幹事にご連絡いただくか、下記HPのメールでお送りください。)

